

Nexusのトラブルシューティング : L2FM-4-L2FM_MAC_MOVE Syslog

内容

[はじめに](#)

問題 : N7K-1で、MACアドレス0050.5695.1ac8と0050.5695.3ba5が2つの別々のインターフェイス (ポートチャンネル5とポートチャンネル6) 間を移動または移動したことが報告されます。

[解決方法](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、NexusプラットフォームのL2FM-4-L2FM_MAC_MOVEのsyslogメッセージについて説明します。

2016 Jan 12 15:19:53 N7K-1 [%L2FM-4-L2FM_MAC_MOVE:](#) vlan 150のMac 0050.5695.1ac8はPo6からPo5に移行しました

2016 Jan 12 15:19:56 N7K-1 [%L2FM-4-L2FM_MAC_MOVE:](#) vlan 150のMac 0050.5695.3ba5はPo5からPo6に移行しました

問題 : N7K-1で、MACアドレス0050.5695.1ac8と0050.5695.3ba5が2つの別々のインターフェイス (ポートチャンネル5とポートチャンネル6) 間を移動または移動したことが報告されます。

解決方法

このログメッセージは、スイッチが同じVLAN内の2つの異なるインターフェイス上の同じホスト (送信元MAC) からパケットを受信することをユーザに警告するように設計されています。

共通トリガー

- L2 ループ
- アクセス ポイント間のワイヤレス クライアント ローミング
- Vmotion
- 誤って設定されたアクティブ/スタンバイ NIC チーミング

このログメッセージが出力されると、次の手順に従って移動元を追跡できます。

- MACの移動を報告するインターフェイスを文書化します。

- これらのインターフェイスに接続しているデバイスにログインし、MAC 移動通知が有効でなければこれを有効にします。
- Macの移動元を追跡できるようになるまでこのロジックを続行します。

MAC 移動通知を有効にするコマンド：

- IOS:MACアドレステーブル通知MAC移動
- N3K:MACアドレステーブル通知MAC移動、ロギングレベルfwm 6、ロギングモニタ6
- N4K:MACアドレステーブル通知MAC移動、ロギングレベルfwm 6、ロギングモニタ6
- N5K/N6K:MACアドレステーブル通知MAC移動、ロギングレベルFWM 6、ロギングモニタ6
- N7K/N9K：ロギングレベルl2fm 5

これらのコマンドは侵入型ではなく、macフラップに関連する追加のsyslogメッセージのみを出力します。

関連情報

- [Nexus 5000に関するFAQ:Nexus 5000スイッチのログに「FWM-2-STM_LOOP_DETECT」というメッセージが表示される場合、どうしますか。](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。